

THE HEROES

注目ライダー直前インタビュー

うず潮レーシング福山 IA1 #15 池本 凌汰選手 「北海道のみんなに希望を繋げたい!!」



今シーズンからマシンをホンダにスイッチした池本選手。出身は札幌市...でしたよ。

実家は北区で鉄工所をやっています。活動拠点は所属チームのある広島？

普段は愛知県に住んでいて、ダンロップのテストと実家の仕事の手伝いをしながらレースを続けている感じですね。

モトクロスを始めたいのはいつ？

父親が趣味で乗っていて、3歳で乗り始めて北海道選手権に出たのが4歳。和寒で全日本乗ってた時が中一でジュニアクラスだったかな。当時は楽しく乗ればいっしょで思ってたんですけど、だんだん夢中になって、高校卒業の年にIBに上がって、他の選手に比べたら遅いんですけど、開幕前に怪我したりして中々結果が出なかったんです。それでもIB2年目に和寒で6位に入って、大阪の名門チームから声をかけてもらって...

マウンテンライダーです？

はい。そこでも中々結果が伴わなくて、結局IAに上がるまでに4年かかって、IA2クラスは3年走って9位が最高だったかな。その後IA1にスイッチして、でも大きな怪我をして...

2018年の第5戦九州大会でした。スタート直後にジャンプで他のライダーと接触して大クラッシュして、外傷性にも膜下出血という大怪我をしてしまいました。復帰まで時間がかかりましたよ。

割とすぐに退院出来て北海道に帰って来たんですが、2ヶ月間は自宅で安静にしていた。その後も頭痛が酷かったり集中出来なかったり言葉が出なかったりで、復帰できたのが2020年だったから結局2年かかりましたね。

コロナでシーズンの開幕が8月末にずれ込んだ年だ。KTMで2シーズン走って、今年マシンをホンダにスイッチして。前回の中国大会では6位フィニッシュを果たした。自己ベスト更新ですよ？

上位選手の欠場があったからですけど、ただ復帰してからも転んでばかりだったし、やっといいレースが出来たという手応えはありましたね。自信にも繋がったと思います。

何か心境に変化があった？

マウンテンレーシング時代は厳しいのが当たり前で、そこで鍛えてもらったから今の自分があるのは間違いないんですが、一方でベテランになってきて、練習も量より質を重視するように切り替えて、あとある程度リラックスできるようにしたことも大きい気がしますね。自分に合ったやり方や、感覚、楽しくカッコよく乗るのを忘れないことも大事になって。

でもトップカテゴリーでワークス相手に戦うのは大変ですよ？

タイヤのテストと実家の仕事を掛け持ちして、バイクやパーツは自分で買っているし、金銭面でもすごく大変。でもその分応援してくれる人も増えて、キャリアの中で今が一番楽しいんです。

10年ぶり地元での大会ですが...

久しぶりの地元開催で相当気合入っちゃうと思うんです(笑)。10年前はIBクラス最後のシーズンで、ベストラップ出して勝ったレースだったのでぶっ飛んで2-2位。あれから経験値は上がってるはずだし、自分なりの攻めた走りや前回の6位を上回りたい。親や彼女、声をかけてくれるちびっ子たち、応援してくれる人たちに今の自分のベストを見せることができたと思ってます。池田 凌もいる北海道ライダーで盛り上げたいですね!!

地元北海道勢になまら熱い応援をお願いしたいんだわ!!

10年ぶりに津軽海峡を超え北海道の大地で開催されることとなった全日本モトクロス選手権。最後に行われたのもここ千歳。その前は和寒で、更にその前が栗丘、もっと前はルソフ、黎明期には手稲山で行われたこともあったとか。そして北海道は、過去に数々の名選手を輩出してきたライダーの産地でもあります。

そんな中、北海道出身でモトクロスの歴史に名を刻んだライダーと云えば、まず忘れてならないのが、1991年にホンダのオートマチックワークスマシンで全日本チャンピオンに輝いた宮内隆行さんが札幌市の出身。他に今もベテランズ MX で元気な走りを見せてくれる源治 篤さんや BOSSレーシングというチームを率いて若手の育成に取り組む元木龍幸さん、スノーモビルに転向し今もチャンピオンとして君臨する佐々木雅規さんなどがまず思い浮かびます。

そして今回応援して欲しい地元ライダーといえば、最高峰 IA1 クラスの池本凌汰選手 (#15/ホンダ) が札幌市北区出身。地元大会にスポット参戦してくれたクラス最年長、大ベテランの沼田誠司選手 (#29/カワサキ) は札幌市手稲区でバイクショップ「ジャッジメント」とオフロード用品店「ダートバイクプラス」を経営。白石翔也選手 (#32/ヤマハ) は仙台市在住ですが帯広市の出身です。

IA2クラスには、前回中国大会で全日本初優勝を飾った旭川出身の池田 凌選手 (#18/カワサキ) が凱旋出場。河西 琉選手 (#52/カワサキ) は昨年末から愛知県に居を移しましたが、札幌市厚別区の出身です。

また併催される北海道選手権のIB Open クラスに出場する栗垣竜斗選手 (#946/ガスガス) は釧路市在住。沼田選手と栗垣選手はそれぞれ自らのチームを立ち上げて北海道から全日本にフル参戦を続けており、沼田選手が率いる「TEAM JUDGEMENT」と栗垣選手が率いる「Team NFS」からは、北海道選手権の各クラスにも大勢のライダーが出場しています。

下は7歳から最年長 67歳まで幅広い年齢層が参加する北海道選手権には他にも地元ライダーたちが大勢出場しています。ライダーには応援こそが力になります。プログラムでまず出身県をチェックして、地元大会で気合いが入るライダーたちには特にコースサバから熱い応援を送ってあげてください。

D.I.D JMX Round5 北海道大会 10年ぶりの北海道開催! 見応えのあるワンデーを楽しもう!



VOICE CONTROL レース直前、注目ライダーからの一言メッセージ

IA1 #29 沼田誠司選手 地元開催はやっぱり嬉しいですね。仕事もあるんで目標とかは特に定めず、最後まで楽しんで走ればいいかなって思ってます。 IA1 #32 白石翔也選手 成績が悪い中でも応援してくれる人が大勢いて特に今回は地元で、家族や古くから支えてくれた人たちの前でレースができる。この1ヶ月しっかりと乗り込んだので、期待に応える走りを見せたいですね。 IA2 #18 池田 凌選手 前回の初優勝はもちろん嬉しかったですが、良いことも悪いことも過去は過去。シーズン一つ一つやれることに取り組むのみです。小さい頃から育ってきたコースなので、色々な意味で楽しみです!! IA2 #22 真野凌輔選手 自分は神奈川県厚木市に住んでますが今年から縁があって北海道のチームで走らせてもらってます。チームの仲間と表彰台を目指して全力でチャレンジします!! IA2 #52 河西 琉選手 去年の暮れから愛知に住んでダートフリークさんでバイトしながら練習してるんですが65で出た以来の地元大会なので、里帰りして乗り込みました。地元でのポイント獲得が目標です!! JX #1 酒井隆成選手 ここは北海道でも1番好きなコースなので、ぶっちぎりで1位を獲って8月のモトクロス全国大会でも優勝します。今回は兄弟4人出てるので、頑張って全員で勝ちたいと思ってます。

第1戦 HSR九州大会 4月8-9日

熊本県/HSR九州オフロードコース 天候:晴れ IA1, IA2共に15分+1周x3のトリプルヒート制で行われた開幕戦。IA1は昨年のIA2王者ウィルソンがスタートから日本勢を圧倒しパーフェクトV。ディフェンディングチャンピオンの富田は転倒を繰り返し総合7位に甘んじる。圧倒的なパフォーマンスを見せたウィルソンに日本勢は大きく水を掛けられる結果となった。 IA2クラスは西條、中島、新たに参戦してきたアロンソの3人が初優勝を分け合い中島が総合Vをマークした。

第2戦 関東大会 5月13-14日

埼玉県/オフロードヴィレッジ 天候:曇り時々雨 IA1はトリプルヒート、IA2は通常の2ヒート制で行われた第2戦。IA1はまたもウィルソンがスタートからレースを支配して完勝。富田が総合2位でランキングも2番手に浮上。内田が総合3位で表彰台登壇を果たす。 IA2クラスはアロンソがパーフェクトVでランキングトップに浮上。浅井が総合2位。中島が地元で総合3位。

第3戦 SUGO大会 6月3-4日

宮城県/スポーツランドSUGO 天候:晴れ 第3戦もIA1はトリプルヒート、IA2は通常の2ヒート制で決勝が行われ、IA1はウィルソンがスタートで出られるも序盤でトップを奪い開幕9連勝を達成。2-5-3で初表彰台に立った大倉が総合2位。富田が4-4-2でまとめ総合3位。 IA2クラスはアロンソが2戦連続となるパーフェクトVで今季5勝目をマーク。3-4の横濱が総合2位、中島が総合3位。

第4戦 中国大会 6月24-25日

広島県/世羅グリーンパーク弘楽園 天候:晴れ 2年ぶり開催となった中国大会はIA1, IA2とも従来の2ヒート制で行われ、IA1はウィルソンがここでも日本勢を圧倒。日本勢最上位争いは富田と内田が2-3位を分け合い内田が総合2位、富田が総合3位。 IA2クラスはヒート1のオープニングラップにアロンソと西條が接触し両者転倒。最後尾から7位まで追いつけたアロンソはヒート2で今季6勝目をマークするもその際に自信初優勝をマークした池田が横濱と同ポイントながら総合Vも獲得。アロンソは総合3位。

from DIRT to DIRT (泥んこ取材記) 「インドネシアGPでタイの若手がポイント獲得!」



6月末と7月初旬にスンバワからロンボクへと会場を移し2週連続で開催された界選手権インドネシア GP。この大会のMX2クラスにタイの若手ジラ・ワンナラ選手がスポット参戦し、全ヒートでポイントを獲得。見事世界ランク入りを果たしました。普段はタイ MX 選手権で活躍する愛称ニモ君はまだ17歳。実はジュニア時代に全日本最終戦 MFJ-GP にもスポット参戦したこともあるんです。レースは雨でキャンセルになってしまったんですけどね。今大会に参戦している北海道の若手の中からも、世界で活躍するライダーが登場するといいですね!!

IA1クラス STATS (リザルト&ポイントランキング)

Table with columns: 順位 No., ライダー マシン, Rd.1九州, Rd.2関東, Rd.3SUGO, Rd.4中国, Point. Lists top 25 riders.

IA2クラス STATS (リザルト&ポイントランキング)

Table with columns: 順位 No., ライダー マシン, Rd.1九州, Rd.2関東, Rd.3SUGO, Rd.4中国, Point. Lists top 25 riders.

JUDGEMENT Dirtbike plus SAPPORO logo and address: 〒006-0829 北海道札幌市手稲区手稲前田613-41 TEL:0116764666

Arai helmet advertisement with text: 実績が証明する「かわす性能」の大切さ。 https://www.arai.co.jp/

IRIDING SPOT advertisement: モータースポーツからツーリングまで バイクライフをサポート (有)ライディングスポット 横浜市戸塚区上倉田1767 Tel.045-862-4878

Technix suspension service advertisement: WWW.technix.jp

D.I.D DIRT STAR logo